

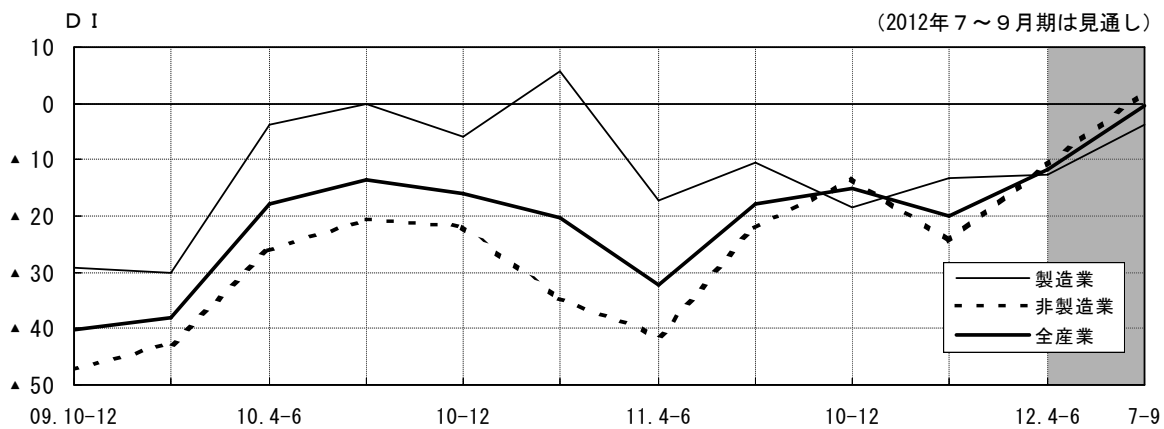
業況概要(自社)

～非製造業でDIが回復、企業マインドの改善がみられる～

静岡県東部地域における2012年4～6月期の業況判断DIは、全産業で▲11.6（前期▲20.2）と上昇に転じた。うち、製造業は▲12.7（同▲13.3）とわずかな上昇にとどまったが、非製造業では▲10.8（同▲24.2）と大きく回復している。特に非製造業では売上や利益に関するDIの上昇傾向が続いており、企業マインドの改善が進んでいる。

2012年7～9月期の予想DIは、全産業で▲0.4と今期比で上昇が見込まれる。うち、製造業は▲3.9、非製造業では1.9とプラス水準に達しており、期待感は持続している。

《業況判断指数推移》



DI：ディフュージョンインデックス(Diffusion Index)の略。

「上昇、増加、好転」した企業割合から「下降、減少、悪化」した企業割合を差し引いたもので、業況判断を見る指標です。

《業種別天気図》

業況上昇 ← → 業況下降

	製造業	食料品	パルプ・紙・紙加工品	一般機械器具	非製造業	卸・小売・サービス業	旅館・その他宿泊所	建設業
2012年1～3月期	☀️/☔️	☁️	☔️	☀️/☔️	☀️/☔️	☀️/☔️	☔️	☀️/☔️
2012年4～6月期	☀️/☔️	☔️	☀️/☔️	☁️	☀️/☔️	☁️	☀️/☔️	☀️/☔️
2012年7～9月期	☁️	☔️	☀️/☔️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️

※2012年7～9月期は見通し

《調査の概要》

- 調査目的
静岡県東部地域（富士川以東）の景気動向と先行きを予測し、主要産業の実態を把握
- 調査対象企業
静岡県東部地域に立地する企業 1,050社
回答数259（回答率24.7%）
※業種別企業数は4ページ図表を参照
- 調査方法
当研究所の指定した項目につき、記名式で実績と見通しを記入するアンケート調査
- 調査対象期間
実績：2012年4～6月期
見通し：2012年7～9月期
- 調査時点
2012年5～6月

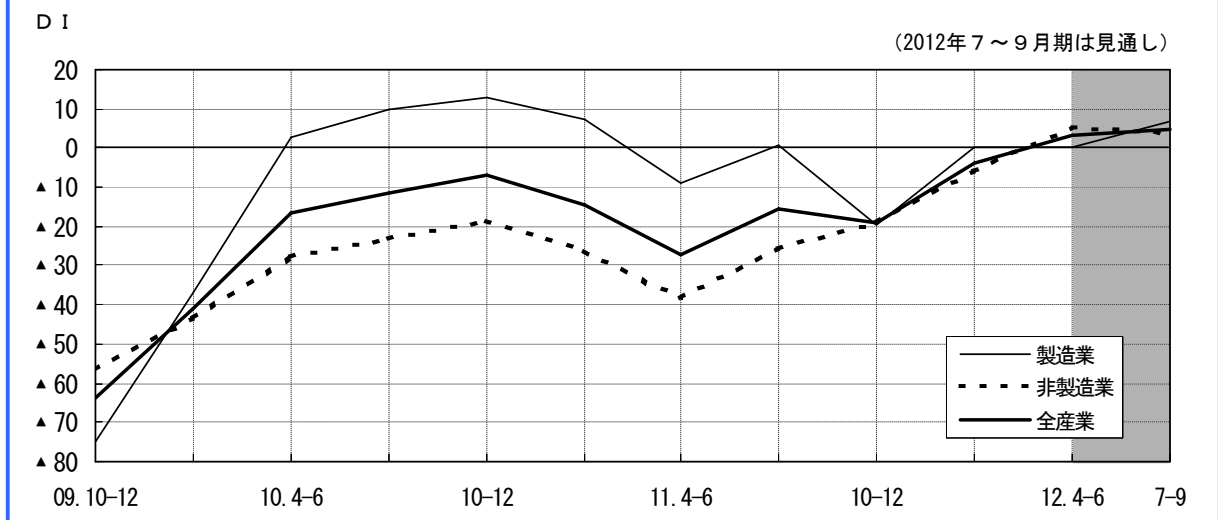
売上動向

非製造業でD Iが上昇、全産業ベースでプラス水準に達する

2012年4～6月期の全産業の売上動向D I（対前年同期比）は3.1（前期▲3.8）と上昇し、2007年7～9月期以来のプラス水準を回復した。製造業ではパルプ・紙・紙加工品でD Iが上昇したが、食料品や金属製品で低下し、全体D Iは0.0（同0.0）と横ばいで推移した。一方、非製造業では建設業でD Iが落ち込んだが、旅館・その他宿泊所を含む卸・小売・サービス業全体で大幅に上昇し、全体D Iは5.1（同▲6.1）と製造業を上回った。

2012年7～9月期の予想D Iは、全産業で5.0と小幅な上昇となっている。製造業では6.9と上昇を見込むが、非製造業では3.8と今期比若干の低下となっている。

《売上動向の推移》



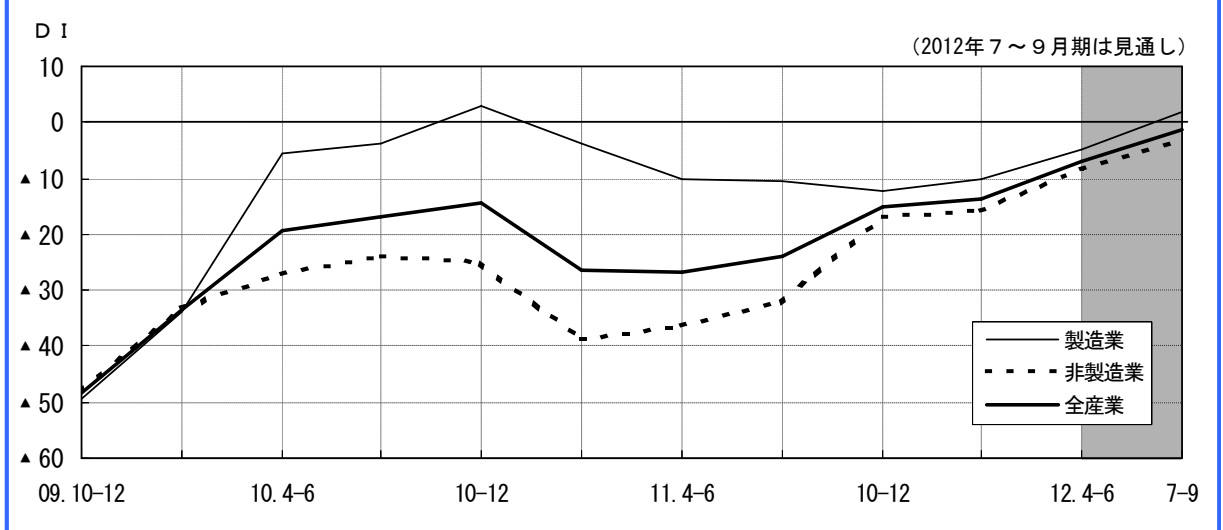
利益動向

製造業、非製造業とも改善が続く

2012年4～6月期の全産業の利益動向D I（対前年同期比）は▲6.9（前期▲13.7）と改善が続いている。うち、製造業は▲4.9（同▲10.2）と上昇した。業種別ではパルプ・紙・紙加工品でD Iが上昇したが、食料品や金属製品で低下している。一方、非製造業では建設業で若干の低下となったが、旅館・その他宿泊所を含む卸・小売・サービス業全体では改善が進み、全体D Iは▲8.3（同▲15.8）となっている。

2012年7～9月期（見通し）の予想D Iは、全産業で▲1.2と上昇傾向が継続している。製造業では2.0とプラス水準への回復が期待され、非製造業でも▲3.2と上昇している。

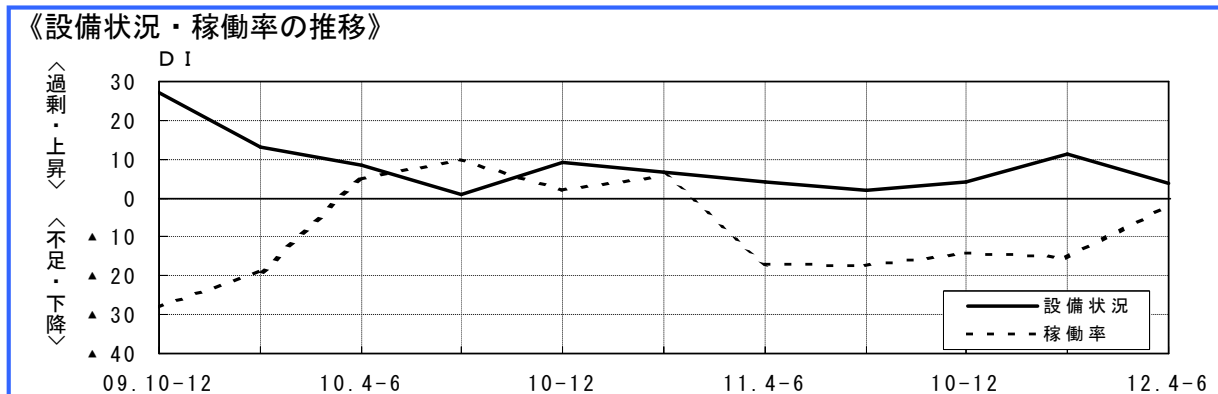
《利益動向の推移》



設備状況・稼働率
(製造業)

設備状況は過剰感弱まる、稼働率は常態に近づく

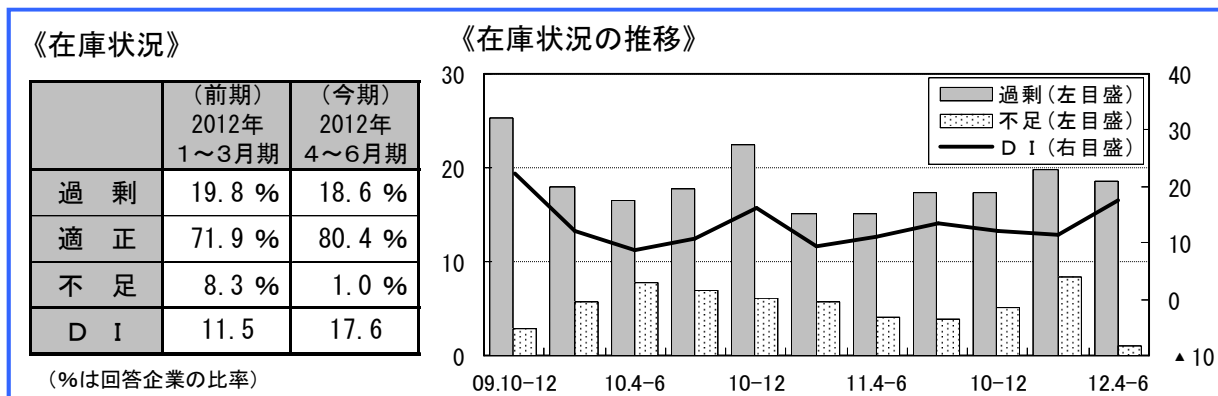
2012年4～6月期の設備状況DIは3.9(前期11.3)と低下し、過剰感は弱まる傾向に転じている。各業種ともDIは低下しているが、特にパルプ・紙・紙加工品や金属製品で低下が目立つ。
一方、稼働率DIは▲2.0(前期▲15.3)と上昇し、常態の稼働率に近づいている。前期落ち込んだパルプ・紙・紙加工品で大幅に上昇した一方、一般機械器具でやや低下している。



在庫状況(製造業)

在庫「不足」の企業が減少、全体のDIは上昇に転じる

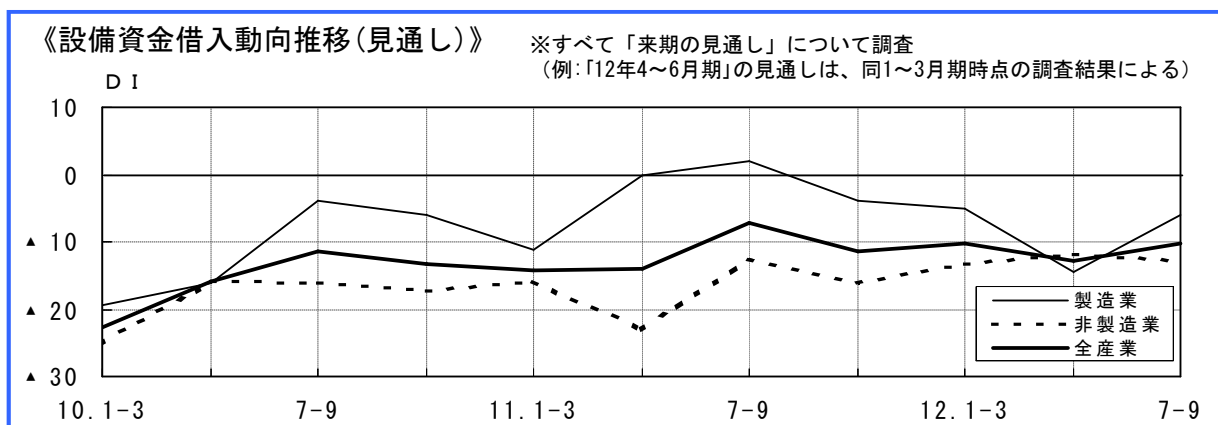
2012年4～6月期の在庫状況(製造業)DIは17.6(前期11.5)と上昇に転じ、2010年10～12月期以来の水準に達している。在庫が「適正」とする企業が全体の80.4%と増加し、「不足」が同1.0%に減少したことがDIを押し上げている。業種別では、一般機械器具とその他製造業でDIが上昇し「過剰」感が強まっているが、食料品では低下している。



設備資金借入
動向(来期)

製造業ではDIが反転上昇、非製造業ではわずかに低下

2012年7～9月期(来期)の全産業の設備資金借入動向(見通し)DIは▲10.2(前期▲12.8)と上昇に転じ、借入抑制の動きは若干緩和された。うち、製造業では▲5.9(同▲14.4)と上昇したが、非製造業では▲12.9(同▲11.9)とわずかに低下し、DIは再び製造業を下回った。



経営上の問題点

「人材の育成」「従業員の高齢化」などの指摘が増加

1位の「受注・売上の停滞・減少」は前期比ほぼ同水準で推移したが、「過当競争・製品安」(38.2%)の回答数が減少、前期3位だった「人材の育成」と並んで2位となった。この他「従業員の高齢化」「人件費の増加」も比率が上昇しており、人材に関わる問題への指摘が全体的に増加傾向にある。また、「その他経費の増加」も回答数が増加している。

《経営上の問題点（上位8項目）》

(社、%)

	11年10～12月期		12年1～3月期		12年4～6月期		順位 変動
	企業	比率	企業	比率	企業	比率	
1. 受注・売上の停滞・減少	173	65.5	163	62.0	161	62.2	→
2. 過当競争・製品安	108	40.9	117	44.5	99	38.2	→
2. 人材の育成	94	35.6	89	33.8	99	38.2	↑
4. 原材料・仕入商品の値上がり	68	25.8	74	28.1	70	27.0	→
5. 従業員の高齢化	55	20.8	53	20.2	61	23.6	↑
6. その他経費の増加	29	11.0	46	17.5	57	22.0	↑
7. 生産・販売能力の不足	53	20.1	60	22.8	43	16.6	↓
8. 人件費の増加	36	13.6	38	14.4	40	15.4	→

《業種別：回答企業数およびD I》

※設備資金は来期の見通し、それ以外は今期実績

業種	企業数	売上動向	利益動向	設備状況	稼働率	在庫状況	設備資金
食料品	10	▲20.0	▲40.0	▲20.0	▲40.0	10.0	0.0
パルプ・紙・紙加工品	18	▲16.7	▲11.1	5.6	5.6	33.3	▲16.7
金属製品	17	▲5.9	▲5.9	0.0	0.0	5.9	▲11.8
一般機械器具	16	6.3	▲18.8	6.3	▲6.3	18.8	▲18.8
その他製造業	41	12.2	12.2	9.8	4.9	17.1	5.0
製造業計	102	0.0	▲4.9	3.9	▲2.0	17.6	▲5.9
旅館・その他宿泊所	17	5.9	23.5	-	-	-	▲11.8
その他小売・サービス業等	91	17.6	▲6.6	-	-	-	▲11.1
卸・小売・サービス業計	108	15.7	▲1.9	-	-	-	▲11.2
建設業計	49	▲18.4	▲22.4	-	-	-	▲16.7
非製造業計	157	5.1	▲8.3	-	-	-	▲12.9

特別調査：新東名高速道路開通による影響

主な効果は「物流の安定・効率化」「営業エリア拡大」
高速道路本来の機能にかかわる効果に今後注目を要する

4月14日に県内区間が開通した新東名高速道路による事業活動への影響について、「現在(回答時点、5月中旬～6月上旬)まで」と「今後の予想」に分けて調査した(回答数259)。

現在までに「大きなプラス」「多少プラス」の影響があったとする企業は合計で全体の14.3%、「プラスの影響は出ていない」は75.7%となっている。一方、今後の予想で「大きなプラス」「多少プラス」とする回答は合計で同18.6%となった。また、「現時点ではわからない」の回答は39.4%であった。

具体的な影響についての指摘(各社からの回答を要約)は、現在、今後とも「渋滞緩和・移動時間短縮による物流の安定・効率化」「営業エリアの拡大」などが比較的多い。その他では「建設工事やインター周辺開発に伴う業務受注」「サービスエリアへの商品納品」などの指摘が出ている。また、今後の予想では「災害や事故による高速道路通行規制の緩和・解消」への期待が多くみられる。開通直後でもあり、SA・PAでの観光の話題がクローズアップされているが、今後は新東名高速道路が有する本来的機能にかかわる効果の動向が注目される。

現在(回答時点:5月中旬～6月上旬)まで

	製造業	非製造業	合計
大きなプラスの影響	0.0%	1.9%	1.2%
多少プラスの影響	12.7%	13.4%	13.1%
プラスの影響は出ていない	81.4%	72.0%	75.7%
無回答	5.9%	12.7%	10.0%

今後の予想

	製造業	非製造業	合計
大きなプラスの影響	1.0%	1.3%	1.2%
多少プラスの影響	16.7%	17.8%	17.4%
プラスの影響は見込めない	26.5%	30.6%	29.0%
現時点ではわからない	45.1%	35.7%	39.4%
無回答	10.8%	14.6%	13.1%